

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	民生委員児童委員協議会補助事業		基本目標	地域福祉活動の推進			
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	上杉真理	評価者	井上敏郎	開始年度 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 高鍋町民生委員児童委員協議会 意図・目的 民生委員法に規定される職務を円滑に遂行するために民生委員児童委員活動及び協議会の運営に対し助成を行う							
事業の内容	無報酬の民生委員・児童委員の活動及び民生委員・児童委員協議会活動への助成							
22年度決算額	4,036,000	千円	23年度予算額	4,036,000	千円	事業従事者数	H22 0.01 人 H23 0.01 人	
主な支出項目	補助金	4,036,000	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	72 千円
			千円	県支出金	3,011	千円	23年度人件費	71 千円
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	0.0 %
			千円	一般財源		千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		民生委員児童委員協議会補助金			
	補助交付団体		高鍋町民生委員児童委員協議会		補助金要綱			
	22年度	補助額	4,036,000	円	補助の形態	国県補助	23年度補助額	3,011千 円 終期 年度
		団体の決算額	4,092,303	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
補助の割合		98.6	%					
	繰越額	28,921	円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1	
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1	
	2	
	3	

◎達成状況

	指標名	単位	21年度	22年度	23年度
			目標値		
成果指標	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
活動指標	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
0	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	民生委員児童委員協議会補助事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-----------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		
		自己評価	委員評価	
(必要性) 妥当性	厚生労働大臣委嘱による民生委員・児童委員活動への助成であり、行政による助成は妥当と考える	◎目的からして町が行うべきか	2	-
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
		◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	地域住民の福祉に関する相談窓口であり、助成を行う有効性はあると考える。	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
		◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	活動助成のため、効率性は不明	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	-
		◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	国の委嘱による住民の活動である	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)			13	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益性) 公平性	民生委員・児童委員は、厚生労働大臣による委嘱により法に定められた職務を遂行することとなり、公益性の高い活動といえる。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
		◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)			3	-
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	地域福祉を地域で実践する当該組織の支援は、国・県の補助と合わせて不可欠である。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
				○		
						コスト

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎民生委員のなり手を探すのも困難な中これ以上の経費節減は難しいと考える。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	